

知っていますか？「賞味期限」と「消費期限」



「賞味期限」や「消費期限」を考えて利用しましょう。

食品の特性にあわせて、おいしく、無駄なく消費するために、期限表示の意味を正しく理解しましょう。

賞味期限って？

賞味期限とは、おいしく食べることができる期限です。

この期限は、表示されている保存方法に従った場合、期待されるすべての品質の保持が十分に可能であると認められる期限です（スナック菓子、カップ麺、缶詰などに表示）。

期限を超えた場合であっても、品質が保持されていることがあります。見た目やにおいなどの五感を使って食べられるかどうか判断することも大切です。

消費期限って？

消費期限は、期限を過ぎたら食べない方がよいことを示しています。

この期限は、表示されている保存方法に従った場合、腐敗やその他の品質の劣化により安全性を欠くおそれのない期限です（弁当、サンドイッチ、惣菜などに表示）。

賞味期限と消費期限との違い（イメージ）



一度開封した食品は、期限表示にかかわらず、早めに食べるようにしましょう。

食品を無駄にせず、環境に配慮した食生活が大切です

賞味期限が切れた食品がすぐに食べられなくなる訳ではありません。保存や廃棄にかかる社会的なコストも考慮しながら、賢い買い物に心がけましょう。